

令和2年4月10日

学生の皆さんへ

学友会五者執行部

総務委員会委員長 林田 紗英

代議員会事務局議長 岩橋 美幸

体育会執行部幹事長 村上 史憲

学術文化執行委員会委員長 椛島 佑太

大学祭常任中央実行委員会委員長 小池 智也

### 学友会五者執行部から学生の皆さんへのメッセージ

本学が創立60周年を迎える2020年度の前学期は、不安と混乱の渦でのスタートになりました。

新型コロナウイルス感染症の罹患者が世界各地で急増し、我が国においても、全国的な感染拡大についての報道が連日なされております。4月7日には、政府から新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく、「緊急事態宣言」が周知されました。感染拡大を警戒しなければならない地域として、東京、神奈川、埼玉、千葉、兵庫、本学の所在地のある福岡の計7都府県となっています。

本学では、学長先生はじめ教職員の方々に、新型コロナウイルス感染状況と政府の対策方針や対策内容を注視しながら、何よりも私たち学生の感染予防を第一に考え、4月22日から5月6日までの授業は遠隔授業、自宅学習になりました。

このような状況の中、学生の皆さんは、不安な日々をお過ごしのことと思います。特に、福岡の土地で新たに生活を始められた新入生は、生活の変化も重なって非常に不安な日々を過ごしていることだと思います。この時期と言え、従来、サークル勧誘などの新入生歓迎行事の真っ只中であり、多くの学生同士がコミュニケーションをとれる機会でしたが、その当たり前であった日常は、残念ながら失われつつもあります。

一刻も早く、当たり前の日常を取り戻すためには、皆さん一人一人の自覚と冷静な行動が必要です。ウィルスは目に見えません。特に若年者層は感染しても症状が出ない場合が多く、気づかないうちに他の人に感染させる可能性さえあります。誤った情報に惑わされずに、正しい情報を見極め、不要不急の外出を控え、手指消毒や規則的な生活（食事・睡眠）を心がけるなど、九産大生としての高い自覚と責任を持って行動しましょう。

こういった一人ひとりの行動が、感染しない、感染させない環境をつくり、結果的に大切な人の命を守ることに繋がっていきます。

「人生100年時代」と言われる急激な社会変化を迎える状況の中、いま、私たち学生が出来ることは何でしょうか。大学生として、主体的に学び続けることが重要だと感じています。不要不急の外出を控えている時だからこそ、読書、e-Learningや資格取得に向けた学習に取り組みましょう。

1日24時間といった時間は、世界共通です。高等学校と比較して自由な時間が多くなる大学では、時間の使い方が非常に重要だと思います。有意義な時間の使い方を考え、行動し、この難局を乗り越えていきましょう。

以上